








胃の手術を受けられる患者様へ

患者氏名(様)

月/日	/	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/ ~ /
胃切除術 達成目標	入院当日 手術の準備が整い、手術に前向きに臨むことができる。	手術当日 痛みがコントロールされ、重篤な合併症が起きない。	術後1日目 痛みがコントロールされ、歩くことができる。	術後2日目～4日目 看護師の援助を得て身の回りのことができるようになる。	術後5日目～8日目 排ガスがあり経口摂取ができる。	術後9日目～退院まで 体力が回復し、退院後の生活に対する不安が解消する。
検査 処置	・名前を書いたバンドを手首につけます。 ・お臍の処置と手術部位の剃毛をします。	<p>〈手術前〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術前は食べたり飲んだりできません。 ・浣腸をします。 ・入れ歯、メガネ、コンタクト、指輪、湿布は外してください。 ・()時に点滴をします。 ・ご家族の方は()時までにご病室にいらしてください。 	採血をします。 病室でレントゲン撮影をします。	毎朝主治医がガーゼ交換を行います。 おなかの様子で鼻の管が抜けます。		
点滴 注射	点滴はありません。	点滴があります。				食事の摂取状況によって点滴が減っていきます。
内服	普段飲んでいる薬を確認します。担当看護師に預けてください。お薬手帳があれば、一緒にお渡しください。 	<p>〈手術入室〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・()で手術室に移動します。 ※ご家族の皆様へ ・手術中は家族控室でお待ちください。 ・手術が終了したら、医師からご家族へ手術内容の説明があります。その後は5階のラウンジでお待ちください。 	<p>〈入院前から服用している薬について〉 手術前から中止している薬は医師の許可が出るまでは中止です。</p>	<p>食事の食べ方の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり時間をかけて ・一度に食べず、何回かに分けて食べる ・食後はすぐに横にならず、30分ほど休憩をする。 <p>〈栄養士が詳しく説明をします〉</p>		
安静	特に制限はありません。通常通りにお過ごしください。	<p>〈手術後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術後はベッド上安静のため起き上がれません。寝返りを打つことは出来ず。 ・尿の管が入ってきます。 ・傷の近くに管が入ってきます。 ・鼻に管が入ってきます。 ・点滴は指示があるまで続けます。 ・手術後は頻回に全身状態を観察します。 ・痛みがあったり、気分の悪いと 	朝の回診後、歩行ができません。初めは看護師と一緒に歩行します。	特に制限はありませんが、管類に注意が必要です。 看護師の許可があるまでは、看護師と一緒に歩行しましょう。		
食事	食事・水分についての中止時間は担当看護師から説明があります。		許可があるまでは絶飲食です。 	医師の許可が出れば水分から摂取できます。食事は軟らかいものから開始します。	<p>退院前に栄養相談を行います</p>	
清潔	入浴できます。 		午前中に温かいタオルで体を拭き、着替えをします。	創部に管があるうちは温かいタオルで体を拭きます。	創部の管が抜けたら、創部を保護してシャワー浴ができます。創部の抜糸後からは入浴できます。	
排泄	午後から下剤を飲みます。			スムーズに歩行ができるようになれば尿の管が抜けます。尿量を測ってもらいます。		
説明	・手術に必要な荷物と手術翌日の着 ・寝たままで行ううがい練習を行い ・血栓予防に必要な足首運動の練習を行います ・麻酔科の医師と手術室の看護師から説明があります。		<p>体を動かすことは、血栓・肺炎予防と早期回復の効果があります。しかし、めまいやふらつくようでしたら無理をせず、最初はベッド上で手足を動かす、上半身を起こすなど徐々に体を動かすことをお勧めします。手術創の痛みは徐々に軽減しますが、我慢せずにご相談ください。</p>	<p>看護師が退院後の生活の注意事項、外来診察日について説明します。</p>		

※スケジュール通りいかない場合があります。何かありましたら遠慮なく看護師に声をかけてください。